

ジャンプスターター PRO 取扱説明書

このたびは FCJ 6100/FCJ6100-OBID ジャンプスターター PRO をお買い上げ戴きまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご利用ください。お読みになったあとは、いつでも本書を確認できるよう大切に保存してください。

DC12V 車専用



安全上の注意・警告	-----	P1~P6
使用上の注意	-----	P7
本体・付属品の各部名称と働き	-----	P8
仕様	-----	P9
使用方法	-----	P10 ~ P14

お使いいただく前に

※連続して5秒以上のクランキングは行わないでください。

※再始動の際は最低10分程度の間隔をあけてください。

本製品はリチウム電池を電源とした商品です。

リチウム電池は軽量・高出力・サイクル寿命が長い・放電率が低いなどの特徴があり、ジャンプスターターの小型・軽量・高出力化を可能にしました。

しかし、誤ったご使用や保管方法によっては発火・爆発等につながる危険性があります。

安全にご使用いただくために、必ず取扱説明書をよくお読みの上正しくご利用ください。

ご使用中に異常等が確認された場合は直ちに使用を中止し、説明書の指示に従ってください。

この取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害及び財産の損害を未然に防ぎ、安全にかつ正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。
この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解いただき、記載事項をお守りください。

 **この警告を無視し誤った使い方をすると、死亡や重症などの重大な事故に結びつく可能性があります。**
警告

使用する前に必ず本書を読み、使用方法をよく理解してから使用してください。記載されている使用方法以外での使用は、絶対に行わないでください。

- 本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 本製品を使用する前に、必ず車両の取扱説明書を確認してください。
※誤った作業は事故や怪我、感電の原因となります。
- 本製品を使用する際には、ファン・ベルト・プーリーなどに本製品やケーブル、作業者が巻き込まれないよう、十分に注意してください。
※事故や怪我、車両の故障・損傷・感電の原因となります。
- エンジン始動後は、すみやかにジャンプスターターを車両から取り外してください。
※事故や怪我、感電の原因となります。
- 作業中にバッテリー液が身体や車両に付着した際は、速やかにきれいな水で十分洗い流し、目や口に入った場合は洗浄後直ちに医師の診察を受けてください。
※失明ややけど、皮膚の障害などの原因となります。
- 安全のため、本製品を使用する前にタイヤに輪止めを使用し、しっかりとサイドブレーキをかけAT車はギヤをパーキングに、MT車はギヤをニュートラルにしてください。
※事故や怪我、感電の原因となります。
- 可燃性のガスや燃料のある場所、第一類・第二類危険個所に指定されている場所では絶対に使用しないでください。また本製品を加熱したり火や水のなかに入れないでください。
※火災や引火、発火・爆発、怪我などの原因となります。
- 作業中は必ず換気を行ってください。
※事故や怪我、感電の原因となります。
- 高温・直射日光下、水没や水に濡れる場所での作業は行わないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 本製品は防水仕様ではありません。雨天での作業、湿った場所や本体・ケーブルなどが濡れた状態での使用は絶対に行わないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。



この警告を無視し誤った使い方をすると、死亡や重症などの重大な事故に結びつく可能性があります。

- 本製品は精密機器です。ぶつけたり落としたりしないよう、取り扱いには十分注意してください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 安全のため、作業に適した服装や安全靴、安全帽、保護メガネ、手袋などを着用してください。
※事故や怪我、感電の原因となります。
- 作業時は周りの安全を十分に確認し、子供や幼児の手の届く場所では使用しないでください。
※事故や怪我、感電の原因となります。
- 保管時は高温多湿となる場所、直射日光の当たる場所を避けて保管してください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 子供の手の届かない場所で保管してください。
※事故や怪我、感電の原因となります。
- 使用後は必ず本製品を車両から取り外してください。
※事故や怪我、感電の原因となります。
- 本体や付属品に異常・損傷などがある場合は絶対に使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 本製品を使用中に本体やケーブルが異常に熱くなったり、その他異常を感じた場合には速やかに使用を中止してください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 作業者以外は本体やケーブルに触れないでください。
※事故や怪我、感電の原因となります。
- 本体やケーブル、付属の各種アダプターを乱暴に取り扱わないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 付属の専用充電アダプター以外のアダプターは絶対に使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 充電中は本体や充電アダプターに物を載せたり布などを被せたりしないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 本製品は12V車専用です。これ以外の車両には絶対に使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

 **警告** この警告を無視し誤った使い方をすると、死亡や重症などの重大な事故に結びつく可能性があります。

●本製品の各ソケット、端子部に導電性のある異物が触れないようにしてください。万一、異物が入ってしまった場合には使用を直ちに中止してください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●使用前は必ずケーブルや本体に異常がないことを確認してください。
※事故や怪我、感電の原因となります。

●使用後は高温多湿・直射日光のあたる場所や水に濡れる恐れのある場所を避けて保管してください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●使用後は必ずプラス側クリップに絶縁カバーをかぶせてから保管してください。
※事故や怪我、感電の原因となります。

●保管時は本製品の付属品以外の物と一緒にしないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●本体から電解液が漏れている場合には、直接触れないでください。
万一皮膚に触れたり目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな
※失明ややけど、皮膚の障害などの原因となります。

●本体から電解液が漏れている場合や異臭がする場合はただちに使用を中止してください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●使用時および充電中に火気を近づけないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●使用時および充電中は、可燃物を近くに置かないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●付属品以外の充電アダプターは使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●本製品付属品を本製品以外に使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●バッテリーを外した車両に、本製品だけをつなぎエンジンを始動しないでください。
※本製品はバッテリー上がり時の応急補助電源です。車両のバッテリーの代わりとして
使用することはできません。

 **警告** この警告を無視し誤った使い方をすると、死亡や重症などの重大な事故に結びつく可能性があります。

●本製品を接続した状態で車両を走行させないでください。
※事故や感電、発火及び火災、本製品や車両の故障の原因となります。

●エンジン始動後は速やかに車両から本製品を取り外してください。
※事故や感電、怪我の原因となります。

●本製品の充電には、必ず付属の専用充電アダプターを使用し、充電完了後はすみやかに
充電アダプターを外してください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●本体や付属の充電アダプターを落下させたり乱暴に扱わないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●充電アダプターは根元まで確実に差し込んで使用してください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●本製品を充電するときは、温度が0～40℃・湿度70%以下の環境で行ってください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●本製品の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止してお買い求めの販売店へ
ご連絡ください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●本製品に異常を感じた場合はただちに使用を中止し、お買い求めの販売店へご連絡ください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●万が一、本製品が発火した場合は消火器を使用し消火を行ってください。
※消火の際は水をかけないでください。感電の原因となります。

●手が濡れた状態での使用および本体が濡れた状態では使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●浴室やプール、海や川など水没や水濡れの恐れのある場所では使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。

●本製品は、医療機器や高度な精密機器、航空機や原子力機器などには使用しないでください。
※事故や火災、感電や怪我の原因となります。



この警告を無視し誤った使い方をすると、死亡や重症などの重大な事故に結びつく可能性があります。

- 各端子類を指で触れたり、異物を入れたりしないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 本製品の複数での接続や他の製品と接続しての使用は行わないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 連続 5 秒以上のクランキングを行わないでください。
※一度のクランキングでエンジン始動ができなかった場合は、必ず 3 ～ 5 分程度時間をおき本体やケーブルの過熱がないことを確認してから再始動を試みてください。
※無理な連続使用は本製品の故障・発熱・発煙・発火に至るおそれがあります。
- 本製品を使用してもエンジンが始動できなかった場合は使用を中止してください。
※バッテリー上がり以外の原因が考えられます。そのまま繰り返し始動を試みると本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 長期間放置されている車両や、極度に劣化・放電されているバッテリーには使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- ジャンプスタート以外の目的で本製品を使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 付属の AC アダプターは指定の電圧（交流 100 ～ 240V）を守って使用してください。また、直流電源 での使用は行わないでください。
※感電・火災・発火・発熱・破裂・怪我の原因となります。
- 付属の DC アダプターは 12V 専用です。24V 車では使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 本体が満充電の状態充電をかけないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 本製品を充電中に本製品を使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- AC アダプターは屋内で使用してください。
※屋外での使用禁止・感電・火災・怪我の原因となります。



この警告を無視し誤った使い方をすると、死亡や重症などの重大な事故に結びつく可能性があります。

- 取扱説明書に記載された使用方法以外での使用は行わないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 各コード類は束ねた状態で使用しないでください。
※本体の異常な発熱や破裂、発火及び火災、怪我や感電の原因となります。
- 本体やケーブルがエンジンやファンベルトなどに巻き込まれないように注意してください。
※本体や車両の破損・故障、怪我の原因となります。
- 誤った使用方法により生じたいかなる損害に対して、一切の保証並びに責務は無効となります。

注意 この注意を無視した使い方をすると、人的損害や製品の故障、その他物的損害に結びつく可能性があります。

- 本製品は DC12V ガソリン車（排気量 6000cc まで）ディーゼル車（排気量 3000cc まで）のエンジン始動補助用電源および、メモリーバックアップ電源用の外部電源および、USB に対応した機器用のモバイルバッテリーです。
これ以外の使用は禁止します。
- 使用になる前に必ず充電状態を確認してください。
- はじめてお使いになるときは、必ず満充電になるまで充電を行ってください。
- 本製品は緊急用の補助電源です。充電システムの故障を起こしている車両等、慢性的なバッテリー上がりを起こしている車両には使用できません。
- 車両に搭載されているバッテリーが、劣化・過放電をしている状態では、本製品を使用してもエンジンをスタートできない場合があります。
- ケーブルの逆接続や短絡（ショート）をしないでください。車両や本製品の故障や重大な事故につながります。
- 本製品は車載バッテリーの代わりとして使用することはできません。車載バッテリーを外して本製品のみでエンジンをスタートさせたり、走行することはできません。
- 本製品の使用の範囲内であっても、車両の状態・状況により本製品を使用することができない場合があります。
- 保管の際は高温多湿・埃・振動の多い場所を避けて保管してください。
- 本製品に異常、損傷があるときには使用しないでください。
- 使用前に必ず本説明書をよくお読みいただき、内容を十分に理解してからお使いください。
また、作業内容に不安のある方は、作業に関して経験・知識のある方の指導・監督のもとで使用してください。
- 子供が本製品で遊ばないように、またペットや動物が触れないようにしてください。
- 製品寿命が来たものにつきましては、適切な環境下において適切に処分してください。
- 本製品や付属品に異常・破損・損傷がある場合、雨や水にぬれた場合には直ちに使用を停止し、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- 連続してジャンプスタートをする場合は、最低 10 分以上間隔をあけてください。
- 長期間使用しないときは、最低 6 か月ごとに充電してください。
- 本体に内蔵されているバッテリーは、使用状況や保管方法によって著しく劣化する場合があります。
内蔵バッテリーの劣化による不具合に関しましては、保障の対象外となります。
- ジャンプスターターを接続する箇所につきましては、必ずメーカーが指定する車両ごとの場所に

本体・付属品 各部名称及び機能

各部の名称及び機能



付属品名称

充電用 (AC100V) AC アダプター 充電用 (DC12V) DC アダプター 交換用予備ヒューズ



OBD II ケーブル
※FCJ6100-OBD のみ付属



シガープラグケーブル
※FCJ6100-OBD のみ付属



シガーソケットケーブル
※FCJ6100-OBD のみ付属



バッテリー	Li-fe リン酸鉄リチウムイオン電池
容量	44.4Wh
出力	DC12V：ジャンプスタート出力 USB：5V/2A
ピーク電流	DC12V/600A
クランキング電流	DC12V/300A
入力	15V/1A
対応車（目安）	12V 車専用 ガソリン車 6000cc 以下 ディーゼル車 3000cc 以下
充電方法	専用充電器を使用（AC アダプター・DC12V 専用アダプター）
充電時間（目安）	約 4 時間
保護機能	過充電・過放電保護ヒューズ装備（250A）
充電回数	約 2000 回 ※使用方法や使用頻度・保管状況等により大きく変化します。 充放電サイクル回数を保障するものではありません。
動作可能温度	環境温度：-20～60℃
保管温度	0～45℃ 湿度 70%以下で結露の無いこと
寸法	274×165×60mm
質量	1160g（本体重量のみ・ケーブル等、付属品を除く）
付属品	AC アダプター・DC アダプター（本体充電用） 交換用予備ヒューズ 1 個 ※FCJ6100-OBID には OBID II ケーブル・シガープラグケーブル・シガーソケットケーブル付属
その他機能	LED ライト（本体内蔵・3 段切り替え式）

ジャンプスターター使用方法

ご使用の前に 初めてご使用になる前に必ず充電を行ってからご使用してください。

充電方法

●AC アダプターを使用する場合

- ①AC アダプターをコンセントに差し込みます。
 - ②AC アダプターの充電プラグを本体側面の充電ジャックに差し込みます。
 - ③充電が開始され、充電状況に合わせて本体のバッテリー残量表示灯が点滅します。充電が完了するとランプは消灯します。
- AC アダプターの充電プラグを抜き、コンセントから抜いてください。

●DC12V アダプターを使用する場合 ※12V 車専用

- ①車両のエンジンを掛けます。
 - ②DC12V アダプターを車両のシガーソケット / アクセサリーソケットに挿入してください。
 - ③DC12V アダプターの充電プラグを本体側面の充電ジャックに差し込みます。
 - ④充電が開始され、充電状況に合わせて本体のバッテリー残量表示灯が点灯します。充電が完了するとランプは消灯します。
- DC12V アダプターの充電プラグを本体から抜き、DC12V アダプターを抜いてください。



※製品に付属の充電アダプター以外での充電は絶対に行わないでください。
※本体には過充電防止回路が内蔵されており、安全のため充電完了後は充電アダプターを取り外してください。
※内蔵バッテリーの性能低下を防ぐため使用していない場合でも6ヶ月毎に充電をしてください。

STEP1

バッテリーチェックスイッチを押し、バッテリー残量表示灯が4個点灯していることを確認してください。これ以外の場合は充電してからご使用ください。

STEP2

※ジャンプスタート方法は必ず車両の取扱説明書で確認してください。

※バッテリーを取り外してしまった車両や、バッテリーに問題を抱えている車両では本製品を使用することができません。

- ①車両のバッテリー端子にクリップをつないでください。
※赤いクリップをプラス端子に、黒いクリップをマイナス端子につなぎます。
注意！極性を間違えて接続しないでください。車両、本器の故障の原因となります。
※車両により、ケーブルをつなぐ場所が指定されています。必ず取扱説明書等で確認してください。
※ケーブルを無理に引っ張ったり、無理に折り曲げたりしないでください。
※ケーブルに損傷や断線がある場合は使用を中止してください。

- ②エンジンをスタートしてください。
※セルモーターは5秒以上連続で回さないでください。また、一度でエンジンが始動できなかった場合は必ず本体やケーブルに過熱がないことを確認し、すくなくとも10分程度時間をおいてから再始動を行ってください。
無理な連続使用は異常な過熱だけでなく、発煙・発火等につながる恐れがあり大変危険です。

- ③エンジン始動後は、速やかに本機を車両から外してください。

オートスタート機能等を備えた車両への使用について

- 車両によりエンジンスタータの際に、キースイッチやスタートスイッチを操作すると、運転者の操作にかかわらずエンジンがかかるまで自動でセルモーターを回し続けたり、複数回のエンジン始動を繰り返す車両があります。

このような車両では本製品の規定の使用時間を超えての無理な使用状況になる場合があります。
無理な連続使用は、本体やケーブルの発熱や損傷、最悪の場合は発煙・発火に至るおそれがあります。

- 上記機能等を備えた車両に対して使用する際は十分注意し、必ず**使用時間が5秒以下**になるよう作業を行ってください。

一度のクランキングでエンジンの始動ができなかった場合は、必ず始動を取りやめてください。
再始動を行う際は最低でも10分程時間をおき、本体やケーブルに過熱や異常の無いことを確認してください。

- 過度のクランキングや無理な連続使用をしてしまった場合は、本体やコードが発熱するだけでなく、内蔵バッテリーにダメージを負っている場合があります。
過度のクランキングや無理な使用を行ってしまった場合には、お買い求めの販売店に本機の点検をご依頼ください。

アクセサリ使用方法 (OBD II ケーブル・シガープラグケーブルの使用方法)

仕様：12V 車専用 用途：バッテリー交換時のメモリーバックアップ用 ※FCJ6100-OBD 付属品



OBD II ケーブル



シガープラグケーブル



シガーソケットケーブル

ご使用前に

- 本製品は12V専用です。
- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 使用前、使用後に破損、損傷、異常が確認された場合には、速やかに使用を中止してください。
- 改造等は行わないでください。・ご使用の際は保護メガネ、作業用手袋などの保護具を身に着けてください。
- 規定外の使用による機器・車両の破損やケガ等に関しましては、当社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は自動車整備士または自動車整備に関する技術および知識を十分に有する方の使用を前提に作られています。それ以外の方が使用すると、思わぬ事故の原因となる恐れがあります。
- 作業中、車両のバッテリーを外した後も、本製品から車両に電源が供給されています。
取り外したバッテリーターミナルをショートさせないように絶縁テープなどを用いて作業を行ってください。
- 一部車種には使用できない場合があります。
作業を行う前に車両の取扱説明書や整備書をご確認ください。

OBD II ケーブル・シガープラグケーブルの使用方法

STEP1

バッテリーチェックスイッチを押し、バッテリー残量表示灯が3個以上点灯していることを確認してください。

それ以外の場合は充電してからご使用ください。

シガーソケットケーブルを本体クリップコードに接続してください。

※シガーソケットケーブルと本体のクリップコードは極性を間違えてつなぐことがないようにご注意ください。

※作業中にクリップコードやシガーソケットケーブルがショートしたりしないように十分注意をしてください。

STEP2 OBD II ケーブルを使用する場合

- ①車のキーを抜き、すべてのドア・トランクを開めてください。ルームランプやカーゴルーム、エンジンルームなどのサービスランプなどを消灯し、すべての電装品のスイッチがOFFになっていることを確認してください。

この状態で最低5分以上時間を置いてください。

※一部の車種ではキーを抜いた後も、一定時間回路に電流が流れる設計になっているためです。

※ドアを開めた後、ルームランプなどが完全に消えるまで待ちます。

※キーは必ず抜いてください。ACCやONで使用すると、多くの電流が流れ、補助電源の電圧低下によるバックアップ不良やヒューズの溶断などの原因となることがあります。

- ②OBD II ケーブルをシガーソケットにつなぎます。

- ③OBD II ケーブルを車両のOBD II ポートにつないでください。

※ケーブルを車両につないだ後は、全ての操作は絶対に行わないでください。

- ④OBD II ケーブルのシガーソケットについている赤色LEDが点灯していることを確認してください。
赤色LEDは外部電源と車両が正しく接続されると点灯します。点灯が確認できない場合は各ケーブルの接続や、外部電源の充電状態を確認してください。

- ⑤車両のバッテリー交換を速やかに行ってください。

※車両からバッテリーを外した後は車両のバッテリー接続端子が車両の金属部に触れてショート等を起こさないよう、絶縁テープなどを使用してバッテリー接続端子を絶縁してください。

※作業中は絶対にOBD II ケーブルを取り外さないでください。

- ⑥車両のバッテリーの交換が終わったら、シガーソケット・OBD II カプラーの順に取り外してください。
これで作業は完了です。

※OBD II ケーブルを外す前にキーを差し込んだりドアロックなどを作動させたりしないでください。

STEP2 シガープラグを使用する場合

- ①「To Battery」と記入されている側のシガープラグを本体に接続したシガーソケットにつなぎます。
- ②シガープラグの赤色LEDが点灯していることを確認してください。
※点灯が確認できない場合は各ケーブルの接続や、外部電源の充電状態を確認してください。
- ③「To Car」と記入されている側のシガープラグを車両のシガーソケットに繋いでください。
- ④すべての電装品のスイッチがOFFになっていることを確認してください。
ルームランプやカーゴランプ、エンジンルームのサービスランプなどが消灯していることを確認してください。
- ⑤キーをACC/ONの位置まで回します。
- ⑥車両のバッテリー交換を速やかに行ってください。
※車両からバッテリーを外した後は車両のバッテリー接続端子が車両の金属部に触れてショート等を起こさないよう、絶縁テープなどを使用してバッテリー接続端子を絶縁してください。
※作業中は絶対にシガープラグを取り外さないでください。
- ⑦車両のバッテリーの交換が終わったら、外部電源の電源を切り、シガーソケット・を取り外してください。
キーをOFFにしてください。これで作業は完了です。

LED ライトの使用方法

ライトスイッチ



USB 端子の使用方法



USB 端子
(出力 5V・2A)

本体 USB 端子からは、5V・2A の出力が可能です。
対応の機器の充電・外部電源として使用することが可能です。
本製品の USB 端子と USB ケーブルを使用して機器を接続し、
USB 電源ボタンを押すと電源の供給を開始します。
(5V・2A 出力・使用する機器の対応を確認してください)
※使用する機器の取扱説明書を確認してから使用してください。
※一部の機器では使用できない場合がございます。
※USB ケーブルは付属していません。
※浴室やシャワールームなど、水にぬれるような場所では使用
しないでください。

ヒューズの交換

本製品には過放電や逆接続、ショート時に本体を保護するヒューズが内蔵されています。
何らかの原因によりヒューズが溶断した際には、本体背面のヒューズカバーを開き、ヒューズ
を交換してください。

